

企業における個人情報・プライバシー情報の利活用と管理 ～個人情報保護法の3年ごと見直しに係る検討を踏まえて～

◇日時◇ 2019年8月28日(水) 13:30～16:30

◇会場◇ 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』

◇講師◇ 渡邊 涼介 氏 光和総合法律事務所 弁護士

平成19年弁護士登録。総務省総合通信基盤局専門職(平成26年～平成29年)を経て、現在に至る。総務省では、平成27年個人情報保護法改正、電気通信GL改正に関わる他、位置情報、スマートフォン、IoT、ドローンなどの情報通信技術やカメラ画像に関する施策等を担当する。主な著作として、『企業における個人情報・プライバシー情報の利活用と管理』(青林書院、2018)、『これ1冊でわかる! 仮想通貨をめぐる法律・税務・会計』(ぎょうせい、2018)(編著)がある。

◇参加対象◇ 法務部門、人事部門のご担当者

開催にあたって

近時、モノのインターネット化(IoT)などの技術の進展により収集された多種多様な情報(Big data)を人工知能(AI)を用いて解析・利用することで、新たな付加価値が生まれています。もっとも、情報の中でも利活用の観点から特に重要な個人情報・プライバシー情報(パーソナルデータ)については、企業による利活用は十分に進んでいないのが現状です。さらに、個人情報保護法の3年ごと見直しが進んでおり、中間整理(案)が発表されるなど、検討案が進んでいます。

今回、このセミナーでは、個人情報だけでなく、その基礎となるプライバシー情報についても解説し、企業がどのようにすれば、個人情報、プライバシー情報の利活用とそれらの保護を両立できるかという観点から、その取扱いに際し留意すべきポイント、個人情報保護法の3年ごと見直しに向けた現在の状況と、考えられる企業の対応について、詳しく解説いたします。

- * 申込書にご記入いただいた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業や刊行物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
- * 「セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより[TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問]をご参照下さい。

【受講料】1名 <税込>

正会員	32,400円 本体価格 30,000円	一般	35,640円 本体価格 33,000円
-----	-------------------------	----	-------------------------

申込方法 当会ホームページよりお申込みください。
<https://www.bri.or.jp> *その他セミナーの最新情報もご覧いただけます。

企業研究会セミナー

- ◎お申込み: 当会ホームページまたはE-mailでお申込み下さい。
- *お申込み後(開催1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送りいたします。
- *最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただきます場合もございます。
- *会員企業一覧は当会ホームページでご確認いただけます。(http://www.bri.or.jp)
- *お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますのでご出席できない場合は、代理の方のご出席をお願いいたします。
- *FAXでお申込みの際、「0(ゼロ)発信のFAX機」をご使用の場合は、必ず「0」を押してから、番号入力をお願いいたします。(別番号への誤送信にご注意下さい。)

【申込先】一般社団法人 企業研究会 担当:金井
◎E-mail:kanai@bri.or.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル 2階
TEL 080-2103-6840(金井)/03-5215-3511(代表)/FAX03-5215-0951

191319-0303	2019.8.28 「企業における個人情報、プライバシー情報の利活用と管理」		
会社名			
住所	〒		
部課 役職		フリガナ お名前	
TEL	FAX		
E-mail			

企業における個人情報・プライバシー情報の利活用と管理

～個人情報保護法の3年ごと見直しに係る検討を踏まえて～

◆ プログラム ◆

■日 時:2019年 8月28日(水) 13:30～16:30

■講 師:渡邊 涼介 氏 光和総合法律事務所 弁護士

-解説-

13:30

1. 個人情報保護法

(1) 基本的な考え方

—制度設計、取得、利用、管理、第三者提供、本人対応—

(2) 実務における検討方法

(3) 3年ごと見直しの検討状況

(4) 中間整理案の内容

2. プライバシー保護

(1) 基本的な考え方

(2) 個人情報保護法との関係

(3) アプリケーションによる情報取得

3. データ利活用の考え方

(1) 個人情報・プライバシー保護の手段

(2) IoT・ビッグデータ・AI

4. データ利活用と個人情報・プライバシー保護を両立する具体的手段

(1) カメラ画像

(2) スマートスピーカー

5. 情報連携の方法

情報銀行、パーソナルデータストア、データ取引市場

6. 従業員情報の取扱い

(1) 従業員情報における注意点

(2) 職場での情報取得、利活用

(3) AIの利用

16:30

7. 個人情報保護法の3年ごと見直しに向けた企業の対応